

公益社団法人 私立大学情報教育協会

第11回産学連携人材ニーズ交流会(オンライン開催)

開 催 要 項

日 時 : 2021年3月5日(金) 13:00~17:00

配信会場 : アルカディア市ヶ谷(私学会館) オンライン開催 (Zoom使用)

東京都千代田区九段北4-2-2 TEL : 03-3261-9921 (代)

1. 開催趣旨

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を受けて、異なる分野の学生や社会人を交えて多面的に知識を組み合わせ、談論風発を繰り返す中で知恵を創り出す学修者本位の学びの仕組みを加速していく必要があります。対面による学びに加え、時間・場所を越えたサイバー上の仮想空間とマッチングして多様な「知」との新結合を目指す新しい学びのスタイルを考える必要があります。

今、正にコロナ禍の中で遠隔授業の有効性と可能性を体験しておりますが、これを機に最良の学修環境を整備し、学生が物事の本質を見極める意識を持って主体的に行動し、協働で創造的知性を引き出す教育のICT変革、大学教育のデジタル変革が喫緊の課題となっています。

そこで、今回の産学連携人材ニーズ交流会では、教育のデジタル変革に向けて、日本の国際競争力の低下、コロナ禍での教育の構造変革、データやAIを使いこなす人材育成などの観点から、産学が連携した新しい学びの仕組みを考える機会にしたいと考えています。

2. プログラム

13:00 開会挨拶

向殿 政男 氏 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長

13:10 **情報提供**

(1) ポストコロナにおける大学教育のDXと数理・データサイエンス・AI教育

服部 正 氏 文部科学省高等教育局専門教育課企画官

新型コロナはヒト・モノ・カネの流れを急速に変化させ、社会の産業構造や生活様式、教育の在り方に大きな変革をもたらしています。コロナ禍はこれまで踏み込むことができなかった大学教育のデジタルトランスフォーメーション(DX)を加速しています。Society5.0を目指す日本としてはサイバー空間とフィジカル空間を融合した未来を切り拓く人材育成の教育が不可欠となっています。そこで、新しい大学教育の創造を目指し、授業価値の最大化を実現していく文部科学省の構想と、数理・データサイエンス・AI教育の政策動向について説明いただきます。

(2) 仮想空間と現実空間を活用した産学連携プロジェクト授業の試み

青木 義男 氏 日本大学理工学部学部長

教育のデジタル変革に向けた取組の事例として、現実世界での膨大な観測データなどの情報を現実空間と仮想空間で繋ぎ分析・予測することで、「社会システムの効率化」、「新産業の創出」などを目指す産学連携の取組を紹介いただきます。

(3) 仮想キャンパスによる産学連携イノベーションラボの提案

野村 典文 氏 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
技監(兼)広域・社会インフラ事業グループ エグゼクティブ・プロデューサー

イノベティブな人材育成には「思考訓練を行う場」と「体系だったプログラム」が必要です。そこで、「教育データクラウド」上に大学と企業の「仮想キャンパス」を設けて、相互に議論を深めることにより、新たな知の創造を行う産学連携による教育イノベーションの構想を提案いただきます。

14:50 休憩 (10分)

15:00 (4) 大学と社会が連携したデータサイエンス・AI教育の取組み

大社接続による教育のオープンイノベーションの仕組みとして、教育プログラムの共同開発、教材としての実データの確保と使用上のルール、大学への実務者派遣の支援条件、大学から企業への課題解決の助言及び共同研究に対する支援、知的財産の取扱い、費用分担など産業界や地域社会との合意形成が大きな課題となっています。そこで、実際に産学連携を進めている2大学に取組みを紹介いただきます。

<滋賀大学の取組み>

椎名 洋 氏 滋賀大学データサイエンス学部教授

<早稲田大学の取組み>

後藤 正幸 氏 早稲田大学創造理工学部教授

16:00 **全体討議**

大社接続による教育のオープンイノベーションを考える

価値創造に関与できる実践的な人材育成を目指し、大学と産業界・地域社会を組み入れた「大社接続」による授業モデルについて「情報専門教育分科会」からの報告を踏まえて、仮想空間と現実空間を活用して新しい価値を創造する社会実装教育の普及・推進方策を中心に、大学と産業界がどのように接続・連携すべきか意見交換し、新しい学びの仕組みについて理解の共有を図りたいと考えております。

17:00 閉会挨拶

3. 参加対象者

テレビ会議（Zoom使用）に参加可能な大学・企業関係者を対象に300名迄先着順で受付いたします。

※ Zoomにネット接続し、Webカメラ、マイク等を用いて参加できることが参加条件になります。

(1) 私立大学の教員、職員

(2) 企業関係者（企業の経営責任者、人材育成部門・事業部門の責任者及び担当者）

4. 参加費

無料

5. 申込方法

別紙申込書にて2021年2月24日（水）迄にお申込下さい。

申込書は (<http://www.juce.jp/LINK/sangakurenkei2021/>) に掲載します。

ダウンロードしてメールにて(info@juce.jp)迄お送り下さい。

6. 運営方法について

(1) 申込いただいた方には1週間前に「ZoomURL」、「プログラムの進め方」をメールで連絡します。

(2) 交流会の内容は編集し、私情協サーバーからインターネットにて配信を予定しております。

7. 問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 九段北TLビル4F

TEL:03-3261-2798 FAX03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp